

産地交付金に係る大豆の生産性向上支援について

【目的】

近年、単収が低迷している大豆について、単収を向上させ、安定供給を図るため、生産性向上に向けた取組を支援します。

【支援内容】

大豆の生産性向上に取り組む生産者を支援します。

ただし、**必須要件として、病害虫防除対策の徹底（本田防除2回以上）に取り組むこと**及び「**追加の要件**」を1つ以上実施（排水対策、土壌改良、300A播種技術、気象の影響を緩和する栽培技術、生育中期の管理徹底、難防除雑草対策）する必要があります。

【単価】

5,000円/10aを上限とします。（県枠予算の都合で単価調整する場合があります。）

【注意点】

- ・対象者は、上記の支援内容に記載の技術実施のほか、経営所得安定対策（畑作物の直接支払交付金）の交付対象者となる必要があります。
- ・各地域農業再生協議会が設定する大豆支援メニューとの重複交付は可能です。

※本内容については、現段階(案)ですので、国の指導等により、一部変更する場合があります。

「必須要件」と「追加の要件」について

【必須要件】

◆病害虫防除対策（本田防除）

- ・カメムシ、ハスモンヨトウ、紫斑病等の重要病害虫の防除対策を2回以上実施すること

【追加の要件】…必須要件に加え、以下の「追加の要件」を1つ以上実施

◆排水対策（麦跡の作付の場合は、麦播種前の実施も対象）

- ・チゼルプラウ等による深耕、カットドレーン等による簡易暗渠の施工等の排水技術対策に取り組むこと

◆土壌改良（麦跡の作付の場合は、麦播種前の実施も対象）

- ・土壌改良資材（堆肥等の有機質資材、石灰等）の施用による土壌改良に取り組むこと

◆300A播種技術

- ・小明渠作溝同時浅耕播種技術、耕うん同時畝立播種技術、畝立播種技術に取り組むこと

◆気象の影響を緩和する栽培技術

- ・早播き+摘芯栽培に取り組むこと

◆生育中期の管理徹底

- ・中耕・培土を実施すること

◆難防除雑草対策

- ・薬剤による帰化アサガオ類やアレチウリ、ヒロハフウリンホオズキ等の防除を実施すること



水田フル活用と大豆の生産性向上で所得向上を目指しましょう!!